

國の結核死亡者は青年壯年期に最も多いが、それは、本病は感染後多くは極めて緩慢な経過を執るからであつて、既に幼少な時期に於て感染してゐる事が多いと言はれてゐる。

結核菌が吾人の身體を冒す部位からいふと、死亡率から見れば肺が最も多く冒される。次には腸である。その他、喉頭・腦・皮膚・腺・骨等、その侵すところは實に廣い。而して、この中で患者が本菌を最も傳播させるものは、肺と喉頭の結核であつて、本令に於ても肺・喉頭その他の開放結核としてあるが、それは患者の呼氣や、咯痰中に多く含まれてゐて、排泄乃至散布される場合も多いからである。その他、淋巴腺腫の外部に潰瘍の現はれたもの、皮膚結核（所謂狼瘡である。その殆ど全身に結核が蔓延した状態を全身結核又は粟粒結核とも稱してゐる。）等が危険である。又腸結核に於ては、その排泄物によつて散布されることにな

る。腦の結核としては、多くは結核性腦膜炎として現はれるが、これは小兒に多く、前の開放結核に比しては、その傳播性が少い。しかし單獨に腦膜炎を冒される場合は極めて少く、その以前に於てすでに肺等を冒されて居ることが多いのであるから、他に開放的の部分があれば、同じく傳播するわけである。

尙結核症は人體ばかりでなく、次の三種があるとのことである。即ち牛の結核と鳥類の結核及びその他の動物の結核であるが、何れも人の結核に比すれば、人體に及ぼす害毒は弱小であつて、只この中、牛の結核が牛乳等の媒介によつて人體に傳染すれば、それより結核症を發することがある。しかし、その経過は、人間の結核の傳染に比して、多くは極めて緩慢で、十年二十年乃至はその人の一生の間そのまゝで経過することがあるといはれて居る。兎に角今日では乳牛の結核検査が勵行されて

ゐるのは、此のためであると思ふ。他の鳥と動物の結核は殆ど人體に害毒を及ぼさないとはいはれてゐる。

## 二 癩

病原體——此の病氣は又天刑病といはれてゐる。結核症と同じく遺傳するものであると思はれたのであるが、今では癩桿菌といふ一種の恐ろしい細菌であることが明かになつた。

傳染徑路——接觸傳染をなすものである。即ち癩患者の有する菌が直接皮膚に接することによつて起るものである。殊に初期の患者の分泌物中には多くの菌を含むとのことであるから、最も危険である。又結核と同じく遺傳性素因を有する人は特に本病に罹り易いといはれてゐる。

以上第三類の傳染病は、第一類及び第二類のそれに比して、甚だしく緩

漫な経過をとるものである。而して第二類の多くは部分的病症であると、又生命に關すること少きとに比して、これは全身的で、且つ長年月を要するも生命に關することの多い病症である。

## 第四類に屬する傳染病二種

これには、傳染性眼炎と傳染性皮膚病との二種あるが、それに含まれてゐる病症のうち、小學校兒童に比較的關係あるものにつきこゝに抄記することにする。

### 一 「トラホーム」其の他の傳染性眼炎

「トラホーム」以外の傳染性眼炎として、こゝには急性結膜炎と腦漏眼の二つを擧げておく。

(1) 「トラホーム」

病原體——未だ明かになつてゐないが、頑固な傳染性を有する眼病であることは確かである。

傳染徑路——患者の眼から出るところの分泌物と共に、病原が他へ移されることが明かである。即ち患者の使用する日常品や、手指の如きが媒介となつて他へ傳染するのであるから、學校の兒童中に患者があれば、或は之が蔓延して往々多數の兒童が此の病氣に冒されることがある。

(2) 急性結膜炎

病原體——俗に「はやり目」など、稱することがある。一種の微菌であるといはれてゐるが、或る場合は然らずして起るとも言はれてゐる。

傳染徑路——「トラホーム」と同じく接觸傳染性のもらしい。即ち患者の眼より分泌する液汁が何等かの媒介によつて健康者の眼に達すれば、こ

の病氣に感染することが多い。其の外傷等によつて結膜に炎症を起し、本病に冒されることもある。この時は傳染性のもではない。

(3) 膿漏眼

病原體——俗に「ふう眼」といふもので、その病原體は淋毒菌である。

傳染徑路——淋毒患者の手指や手拭、又は其の他のものから病毒が眼に入つて起るものである。時には錢湯や公衆のWCの戸などに觸れることより傳染することもあるといはれてゐる。急激な發病の經過をとるもので、病毒が眼に入つてから、約一晝夜で症狀を現し、三四日位經つと眼からは稀いが、膿を混じた液汁を分泌し、時には激痛化膿の末、失明するに至ることが少くない。我が國の盲者の大部分は、これが原因である。とまで言はれてゐるが、小學校時代には此の病症に冒されるものが少いことは幸である。

## 二 疥癬其の他の傳染性皮膚病

單に皮膚科に屬するものを擧げるならば、丹毒や微毒の如き全身的に影響を及ぼして、時に吾人の生命に危害を加へるものもあるが、こゝにはかゝる廣汎な意味にとらずに、比較的或る一局部に及ぼす傳染性の皮膚病として記しておかうと思ふ。而も尙その中について割合に兒童期に冒され易い疥癬・黃癬・白癬・頑癬・癩風・傳染性膿疱疹等について抄記することとする。

## (1) 疥癬

この病症は普通に、しつとかひせん等と稱してゐるものであつて、その病原は疥癬虫が吾人の皮膚に寄生するによるものである。非常に痒いところから、俗にかい／＼などもいつてゐる。その冒すところは手指の間や、指・腕・肘等の關節の内側・股や膝の内側・腋下等、主に皮膚の柔か

い箇所が発生する。そして最も痒みを感じるのは、夜間床についてからで、したがつて無意識に搔くので、却つて蔓延することになる。又この疥癬虫には雌雄があつて、雌虫が卵を産む時になると皮膚の内部に入り、縦横し道を作るといふのである。時候からいふと温暖の候に於て傳播することが多い。傳染の経路は勿論接觸傳染である。

## (2) 白癬

これは普通にしらくもと稱してゐるもので、多くは子供の頭部を冒す、(中には趾の間を冒す趾間白癬||俗稱水むし||といふものもある。)その病原は一種の糸狀菌である。頭部に發したものは輪狀に水疱を生じ、白い微が生えたやうになり、多くは輪狀に區劃されて、その縁に淡紅又は暗黒色を呈し、時には硫黄色のものが出来る。放つて置けば頭の殆ど全部に蔓延することもある。症状により淺在癬・深在癬・圓癬・瓜甲癬等の

學校衛生について

四種に區別されることがあるが、大抵症状が進めば、皮膚の内部に深入するにより、毛髪は光澤を失ひ且つ毛根に近い所から斷折し、又抜け易くなる。而して抜けた痕は禿げるが、後に治癒すれば大抵再び發生して癬痕を残さない様になる。

(3) 黄癬

その病原は「シェーンライン」氏發見の糸狀菌によると言はれてゐるが、右の白癬と同じく主として小兒の頭部を冒し、黄色の乾癬を作るをその固有性とする。即ち硫黄色の乾癬を生じ、毛髪がその中心を貫いて上に出る。早く適當の治療を施せば治癒するが、然らざれば漸次蔓延して且つ久しく経過したるものは灰白色を呈するに至り、鼠糞の如き不快な臭氣を發し、搔痒甚だしく、遂には毛髪は抜け禿頭並に癬痕を残留するに至るものである。此の病は頭部を不潔にして顧みない田舎の子供に多く

(4) 頭癬

経過は緩慢で數月乃至數年に亘ることがあるのを見る。

病原は前と同じく一種の糸狀菌である。俗に「いんきんとかたむし等と稱せられるもので主として陰囊や股の内側又は肛門の周圍等常に皮膚に觸れ合ふ部分に出来易いもので、是等の部分に汗などが出ても拭はずにおいたり、又不潔に保つことが多ければ、そこに傳染を受けることが多いのである。最初は赤い圓形の斑點であつて、これが漸次環狀に擴大していき、遂には股の内面全部に蔓延することがある。中央部は褐色を呈して治癒した様でも偏縁は赤くなつて居り、そこには小さい水疱や痂皮の如きものがあつて、搔痒を感じるが就寢の時や發汗の時には殊に甚だしいので、これを搔けば益々大きくなる。そして治癒した後でも多くは數年に亘り褐色の癬痕が残つてゐる。

## (5) 癩風

この病原も一種の糸状菌である。俗になまづと稱するもの。これは皮膚が常に外部に露出される顔や手などには發生しないで、胸や脊などに一面に擴がるものである。初めは大抵小さな圓い黄褐色の斑點である。外に現はれてゐる部分主に顔面等に生ずる白いかさ／＼したものは、俗に白なまづといつてこれとはちがひ、白癬に類した微菌によつて起るものであるとのことである。

## 附記

以上記したる五種の皮膚病のうち、第一の疥癬を除いてはすべて糸状菌の寄生によつて生ずる病症であつて、尙此の外にもこの糸状菌による病症が多いのであるが、この點について、醫學博士上原豊明氏が、「皮膚に寄生する糸状菌」と題して大正十三年十二月中の東京日日新聞紙上に四回に

亘つて掲げられた記事は皮膚病のみならず、他の傳染病に關しても吾人の参考とすべき點が少くない。左にその一部を抄記しておかうと思ふ。

「一般の人々の間に廣く存在してゐる皮膚病の中で、糸状菌と稱する菌種によつて出来る病氣がある。

例へば子供の頭部に出来る白癬(俗稱しらくもの或種類)同じく頭部に來て禿髮を生じ、黄色の痂皮を生せしむる黄癬、又は非常に屢々見られる陰股部に生ずる頑癬(いんきんと稱するもの、一部)趾の間に皮膚の白色變化を呈する趾間白癬(俗稱水むし)の大部分の如き、何れも糸状菌からくるのである。

白癬、黄癬の外に女子の頭髮に多い砂毛や滿洲、支那、乃至熱帶地方に多く見られる屋瓦癬や、又内地にも多數に存在せる癩風、紅色陰癬等も皆同様に糸状菌に由來する皮膚の寄生性疾患であつて、是等を總稱して皮膚

糸狀菌病といふ。

人類に寄生して種々の疾病を惹起す病原菌は非常に多いが、その大多數は裂殖菌門のうちで真正細菌區に屬する球菌科、桿菌科、螺旋菌科、線菌科等のうちに入るべきものである。

例へば、丹毒の病原菌、淋菌、黃色又は白色葡萄狀菌、連鎖狀球菌等は球菌科に屬し、肺炎菌、結核菌、癩病菌、インフルエンザ菌の如きは桿菌科に、コレラ菌の如きは螺旋菌科のコンマ菌屬に屬する。

斯く恐るべき種々の疾患の病原をなすものは、系統上から見ると、大多數は裂殖菌門の如き頗る下位に屬する生體である。

所が皮膚にかぎつてこれ等の所謂細菌とは非常にかげ離れた糸狀菌の種類が非常に屢々疾患の原因となり得るのは興味深いことと思ふ。

さてかゝる最下位に屬する細菌の種類から見ても、遙かに分化發生の度の

高等に進んだ糸狀菌が、人類の皮膚に寄生しては、如何なる種類のものであるかといふに、最も多數に現出するのは白癬を生ずる糸狀菌である。

元來皮膚病を起すこれ等の糸狀菌については、現在まで多くは醫學者の手によつて研究の歩が進められてをり、植物學者は餘り手を染めなかつたのである。

これは止むを得ぬことで、植物學者はかやうな菌種の純培養をなすことや、生體に寄生してゐる有様を観察し得る機會は勿論ないわけで、醫學者、殊に皮膚病學を研究する二三の人々の手によつてのみ、この方面の研究が進められてゐた。

従つて現在判明してゐる菌種の種類、その名稱等はすべて醫學者が與へたので、植物學上より見て正當なる分類ではないのである。

人類に寄生して諸種の皮膚に疾患を起す糸状菌は、これを自然界に存する他の糸状菌の種類と比較すれば遙かに少数である。

更に一步を進めて、その數を比較的少きこの寄生性のものにあつても、その大多數は植物體に寄生するものであつて、動物體に寄生するものは實に寥々たるものである。

その僅少なる動物寄生性のものゝ中でも、人體の皮膚面上に寄生するものは實に僅かしか證明されてゐない。こは何故か。

皮膚糸状菌病を疾患として有する人類より見れば、その寄生は一の災害である。然し糸状菌の側から見れば、それが人類の皮膚に寄生することは、その菌種の生命維持に最も都合のよい方法であらねばならぬ。即ち人體の皮膚はその種族の維持と繼續とに對して最も好適なる環境なのである。斯くしてこれ等の菌種は唯一の生存區域を人體の表面に發見し得て、

その繁殖を續ける。——下略

(6) 傳染性膿疱疹

病原は白色葡萄狀菌であるとも言はれてゐるが、未だ明かには分らないやうである。俗にとびひといふのも此の病氣に屬するもので、主に幼少な子供が冒され易い。多くは顔面に出来るが、又身體の各部にも現はれる。初めは水疱の小さなもので漸次増大すると共にその中には膿様のもを含む様になり、破れると汚穢にして白色の痂を生ずるが、その際汁が他の皮膚に附いて方々へ擴がつて行くものである。接觸傳染力を有すること勿論であつて、往々流行性に來ることがある。丁度二三年前の春より夏にかけて、近隣の子供が多く此の病氣に冒されつゝあつたので、大分用心したが、遂當時二歳の小兒が冒されて身體の各部に發生したことがある。その際近隣の人達と共に色々醫師に問合はせて薬を用ゐたが



一向効果が現れない、最後に一醫師の下に至りし際、これはとびひだから硫黄軟膏を塗布すればよいとて、少許の薬を用ゐて治癒した例がある。

瘰癧

(7) 瘰癧(ひやうそう)

これは傳染性皮膚病として以上の六種に加へることは、どうかと思ふが、予の経験せる事實を記して参考に資したいと思ふ。

この病氣は化膿菌であつて、皮膚面に創がある場合にそこから侵入して時には皮下蜂窩織炎を起すことがある。その手指に起つたものを瘰癧といふのである。経過が軽く行けば自然に治癒することもあるが、時には深部に侵入してそこに炎症を起し、非常な疼痛を感ずる。殊に夜寝につくと一層烈しいので耐えきれない程である。かゝる状態が數日間つくと、いくらか樂になるが、それでも安心は出來ない。時によるとその

禿頭病

(8) 禿頭病

深部で化膿したものが外部に破れずに骨を腐らしたり、又は膿毒症や敗血症を起して、一命にも關することが出來るのである。丁度四年前であるが、子の長女が右の親指の爪際にこの病症を發したことがあつて、二三の外科醫師の診を受け、遂に順天堂の佐藤博士の手術を受け、爪を縦に三分の一許り切り取つて、約二ヶ月の後に漸く治癒したことがあつた。その際、同病で指を切斷した患者を數人見受けた。で、學校生活中兒童の外傷などの爲めに創が生じた場合は餘程用心を要することと思ふ。

この病症は又臺灣坊主ともいふ。時には頭髮のみならず眉・睫・鬚なども冒される。その原因は未だ不明であるが、或醫師は營養神經の障害から來るといひ、又は微菌のためであるともいはれてゐるが、一般に傳染性があるといふ人が多い。患者には殆ど何の痛痒をも感せず禿げかゝ

學校衛生について

り、その部分には痂皮を存しないで滑かである點は他の皮膚病と異るところである。

以上第四類に屬する傳染病として擧げたるものは、前の第一類乃至第三類に屬するものに比して、部分的であり、且つ殆ど直接には吾人の生命に關することの少き病症である。しかしながら病氣には甲乙なしと言はれてゐるが、特に眼炎の如きに至つてはその重症者の受ける痛苦は實に尠くない。又皮膚病も共に外面的の病症だけに學校の如き集合生活を營む場所にては、特に接觸傳染を促す機會が多いだけ、その豫防に注意を要するところである。

其の他學校衛生上注意すべき點は多々あるが、原因論の中にも種々述べておいたことであるから、他日に譲ることとする。

劣等兒の原因と其の教育 終り

大正十五年十月十日印刷  
大正十五年十月十五日發行

劣等兒の原因と其の教育

〔定價貳圓八拾錢〕

著者 黒沼勇太郎

發行者 生地龍太郎  
東京市本郷區元町二丁目四十七番地

印刷者 山村龜藏  
東京市麻布區北新門前町十八番地

有版權著作

發行所

東京市本郷區元町  
二丁目四十七番地

啓文社書店

振替東京三八七七六番

眞行寺朗生先生新著

◆四六判總布製  
◆函入五百餘頁  
◆凸版圖壹百餘

定價貳圓九拾錢

送料  
十二錢

# 新刊 新要目に 準據せる 遊戯及競技の實際

本書は多年教職に従事して具さに學校體育に研究を重ね、兼ねて幾多の體育書著述に於て冷名噴々たる著者が這度改正要目の發表に際して、多年の指導的天才と深甚なる造詣とを傾けて、改正要目準據の遊戯及競技の實際をば、巧妙なる凸版壹百餘個を活用して、或は其の解説に、或は其の指導上の注意に全遊戯及競技教材の各個について、一々懇切に叮嚀に且つ詳細なる解説を試みられた實際本位の理想的遊戯及競技教授書である。故に特に遊技教授に興味を有せらるゝ各位は勿論、時に或は遊技教授に興味を有せられぬ各位に於ても、本書一部を座右に備へなば、極めて愉快に極めて流暢に又極めて生々潑々の態度を以て指導せらる可きを信じて疑はぬ。

眞行寺朗生 共著  
小瀬峰洋 改正

要目 小學校體操科教材配當と其指導案

定價壹圓廿錢  
送料 十錢

東京高等師範學校教官 黑沼勇太郎先生著

◆四六版布製  
◆四百五十頁

定價貳圓七拾錢

送料  
十二錢

## 新學說に 基きたる 算術學習指導精義

現代算術界の代表的模範指導書出づ……………  
教育者は本書を得て始めて誤り無き方針が得られる

我が國現代の算術教育の實際界は朝に一説を迎え夕に一説を送るといふイズムの送迎に忙殺され實際家は其の取捨選擇に昏迷し全く混亂の状態に陥てゐるのである。著者は此の慘狀を救済すべく猛然として立ち豊富なる學殖と多年の經驗とを基礎として加ふるに新學說を攝取統合せしめ實際家の嚮ふ所を明かにし且つ諸說の發展する各學年學習指導の實際案を詳述せるもので現代算術教授界の模範的指導書である。

### 近刊

◆新學說に基きたる 讀方學習指導精義  
◆新學說に基きたる 修身學習指導精義

四六判四百五十頁  
四六判四百五十頁

稻毛詛風先生著

四六判總クローヌ上製函入  
定價貳圓八拾錢送料十二錢

最新版

# 教育哲學概論

教育の研究も實行も哲學を俟つてのみ、その徹底的境地に達することが出来ると共に、教育の哲學的研究は教育哲學によつてのみ結實するものである。本書は、最も夙く哲學の教育的必要を喝破し、最も熱心に教育哲學を研究しつゝ、ある著者が、多年の蘊蓄を披瀝したもので、正しく本邦教育哲學書の先聲である。少くとも教育哲學とは嚴密に何を意味し、哲學は何故に教育上必要であるかといふことを、徹底的に闡明した點に於て、本書の教育者として眞に意義ある生活を營まんとする士は、必ず一本を縋いて、その思想と生活との根源を涵養すべきである。

## 内 容 要 目

- 第一章 教育哲學の概論
- 第二章 教育の哲學的基礎
- 第三章 教育學の本質
- 第四章 教育の本質
- 第五章 教育上の人生觀
- 第六章 教育研究の哲學的基礎
- 第七章 教育學と哲學
- 第八章 學校科目としての哲學
- 第九章 教育哲學の諸問題
- 第十章 シレーヴスの教育哲學を評す

## 現代哲學研究會編

四六判總六號二段組  
五百六十頁函入美本

定價參圓八拾錢  
送料十八錢

# 新 代 現 代 哲 學 辭 典

本書は一般哲學研究者の爲めに文章の平易簡明、記述の嶄新確實、取扱の輕便、最も要領を得たるを旨として編述したるものである、故に何人も一讀直ちに其要點を把握し得る事が出来る。内容は廣義の現代文化哲學全般に亘り其の重要な者を悉く蒐集した隨つて哲學、倫理、宗教、藝術、社會、産業、政治、經濟、教育に至るまで、もれなく之を網羅した殊に語の有つ重要な程度に應じ繁簡最もよろしきを得且つ辭書編纂の陥り易き記事重複を努めて避けるなど辭書としては比較的小なるも内容に至つては實に豊富であり眞に現代人必携の理想的哲學辭典である。



東京女高師前教官  
和歌山縣師範主事

中野八十八生著

◆五學年用 定價貳圓九拾錢 送料十二錢  
◆六學年用 定價參圓九拾錢 送料十八錢

# さしるる 中心感激の國史教育

五學年用  
六學年用

## 國史教育の革新

本書は國史教科書に現れたる「さしるる」の精神を躍動顯現せしめんが爲に詳述したるもので特に文部省編纂趣意書並に現代國史教育の新思潮を基調として「さしるる」挿入の目的に合致せしむる事を以て其根本精神としたものである。内容はさしるるの着眼點・主眼點・教科書本文の叙述・挿畫挿入苦心の痕・兒童に傳へんとする挿畫の説明等の五つに分節叙述したるものであるが更に道德教育・人格養成・成情陶冶・情操教育・國氏精神の顯現等に分つ事が出来る。本書は史實の精査具體化に努ると同時に之が表現法史實躍動の原理を實際的に説いたものであるから國史教育の感激的陶冶を遺憾なく行ふ事が出来るのである。最も新しき苦心の實際教授用參考書として各學校の必備を望む。

弘前高等  
學校教授

三浦圭三先生新著

◆四六判上製 定價貳圓八拾錢 送料十二錢  
◆四七〇頁

新刊  
忽ち好評

# 文部省教員 國語科受験準備の指導

▼國語科受験者の最も期待せる受験準備指導書發賣す……

本書は著者が昨夏教育學術研究會の主催に係る文部省檢定試驗國語科受験準備講習會に於て講述し全會員に非常なる感銘を與へたる稿本に改訂増補を加へたるものである。著者は夙に文檢國漢科に及第し高等教員試驗令の制定後間もなく該試驗を苦もなく通過せる秀才であり眞摯篤實なる少壯國學者である。著者の本書に於て説ける所は悉くその尊き體驗と明敏なる頭腦の所産たるは勿論本書を手にする程の者をして悉く自己と同列に引き上げずんば止まざる底の熱烈さと誠實なる指導とに溢れてゐる本書に依りて現代に於ける國語科の眞の準備の如何なるかを知り確信を以て試驗場に望まんと欲する人々は先づ系統的なる本書に依て進むべき方向と方法を習得せられよ

吉波彦著作 ◆文部  
檢定

# 國語漢文受験要訣

三 四六判六百六十頁  
定價參圓五拾錢 送料十二錢

近藤新一先生譯著

四六判總ポイント組頗美本  
定價壹圓九拾錢 送料拾貳錢

新刊 學校及び家庭に於ける 子供の疑問はどうか解くか

▼疑問の多い子供程發達の見込があり其の疑問に對して適切な解答を與へる事が智性發達の要訣である事は疑のない所である本書は原著者が多年の實際經驗に基き子供から受けた自然——人事兩界に亘る千種萬別な質問中から其の代表的のもの二十類三百十問題を特に選定し之に適切簡明な解説を加へたもので上級兒童の趣味讀本とするも實に面白いものである。

▼本書は殆どあらゆる方面の質問を網羅せると解説の要を得たとは本書の特色である

252.5

130



終

